

令和3年度第2回庄原市外国語教育研修会

令和4年1月28日（金） 各校でのオンライン研修

<研修会の目的>

- ・中学校外国語科の授業研究を通して、本市中学生の実態及び中学校の取組を知るとともに、児童生徒のコミュニケーション能力の育成に向けた指導方法の在り方について研究を深める。
- ・言語活動の充実を図るためのICTを効果的に活用した外国語科の授業の在り方について理解を深める。

【研究授業】第1学年 PROGRAM 9 「A Trip to Finland」

授業者 庄原市立東城中学校 教諭 胡子 彩佳, 岩本 靖代

本時の目標

ALTの先生に分かりやすく興味をもってもらえるような発表をするために、プレ発表を通して改善点を意識し、発表することができる。

<指導のポイント>

- ☆庄原市内のALTに、日本の伝統文化や、日本で有名なものについて説明する活動を単元ゴールとして設定し、相手意識や必然性をもたせる。
- ☆Google Formsを活用し、過去形の定着を図る。
- ☆Google スライドを活用し、グループごとにALTの先生に伝えたいことをまとめさせる。
- ☆プレ発表の様子を動画で撮影させ、振り返りの際に活用させることで、発表の改善点を考えさせる。
- ☆Jamboardを活用し、プレ発表の相互評価を、発表の改善の参考にさせる。
- ☆学習の振り返りの際にGoogle Formsに記入させる。



【研究協議】①生徒の主体的な学びに向けた授業の工夫について ②言語活動を充実させるためのICTの活用について

- 必然性をもたせる課題設定の工夫やALTとの綿密な事前連携の大切さを改めて感じた。
- 発表⇒改善⇒再チャレンジの流れが良かった。撮影した動画で自己評価し、改善に生かす点も参考になった。
- Jamboardを活用した「表現貯金シート」が参考になった。生徒が何とか伝えようとする際に役立つとともに、自分自身の成長を知ることにつながる。
- 知っている単語を組み合わせることで伝えたい表現を考えることは、小学校から繋がっているので続けていきたい。
- 分からない発音をタブレットを使って自分で調べ、発表に取り入れていた。
- ICTを使う場面の選択や、ICTを使うスキル面の指導について考えていく必要がある。



【講話・演習】「英語科における言語活動の充実に向けた授業改善について

～ICTの効果的な活用を通して～」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 藤井 遼

◎英語科において、言語活動を充実させるために、ICTをどのように活用できるかについて講話を行った。その後、参加者はグループワークを通して英語の授業でのICTの活用場面を体験し、グループで作成したプレゼンを発表した。

<ICT活用のポイント>

- ★言語活動や練習での場面…児童生徒の言語活動の充実と指導・評価の効率化
- ★交流や遠隔授業での活用…遠隔地・海外とのコミュニケーションと非常時への対応
- ★コンテンツ・授業運営…興味・関心、学習の質を高める



【参加者の振り返りより】

- ・目的・場面・状況を共有し、必然性のある活動を取り入れたいと思った。ALTの先生にも授業の趣旨や付けた力を共有することの大切さが分かった。
- ・高学年の外国語科では、個々で発音の練習ができるよう環境を整え、低学年や中学年では、イラストを動かすなど簡単な操作で単語を覚える活動など、できるところからICTを取り入れたいと感じた。
- ・ICTを使うからこそできることを考えたり、指導効果を高めるために、それぞれの領域ではどのようにICTを活用することができるかを考えたりしていきたい。